

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	5年間（2015年5月22日～2020年5月21日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主 要 投資対象	米ドル・コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストミレアセット・グローバル・ハイ・ディヴィデンド・エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）」（以下「エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ブラジル・レアル・コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストミレアセット・グローバル・ハイ・ディヴィデンド・エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」（以下「エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクト・コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストミレアセット・グローバル・ハイ・ディヴィデンド・エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）」（以下「エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
運用方法	米ドル・コース	①主として、エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）の受益証券を通じて、安定的な配当と今後の増配が期待できる世界の株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）では、原資産通貨（※）売り／米ドル買いの為替取引を活用して、米ドルへの投資成果の獲得をめざします。 （※）原資産通貨とは、保有資産の表示通貨をいいます。（以下、各コース同じ。）
	ブラジル・レアル・コース	①主として、エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）の受益証券を通じて、安定的な配当と今後の増配が期待できる世界の株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）では、原資産通貨売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルへの投資成果の獲得をめざします。
	通貨セレクト・コース	①主として、エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）の受益証券を通じて、安定的な配当と今後の増配が期待できる世界の株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）では、原資産通貨売り／選定通貨（※）買いの為替取引を活用して、選定通貨への投資成果の獲得をめざします。 （※）当ファンドにおいて、選定通貨とは、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が選定した複数の通貨をいいます。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

通貨選択型ダイワ／ミレアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）

米ドル・コース
ブラジル・レアル・コース
通貨セレクト・コース

運用報告書（全体版）

第1期（決算日	2015年7月21日）
第2期（決算日	2015年8月21日）
第3期（決算日	2015年9月24日）
第4期（決算日	2015年10月21日）
第5期（決算日	2015年11月24日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「通貨選択型ダイワ／ミレアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）」は、このたび、第5期の決算を行ないました。

ここに、第1期～第5期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

〈5681〉

〈5682〉

〈5683〉

★米ドル・コース

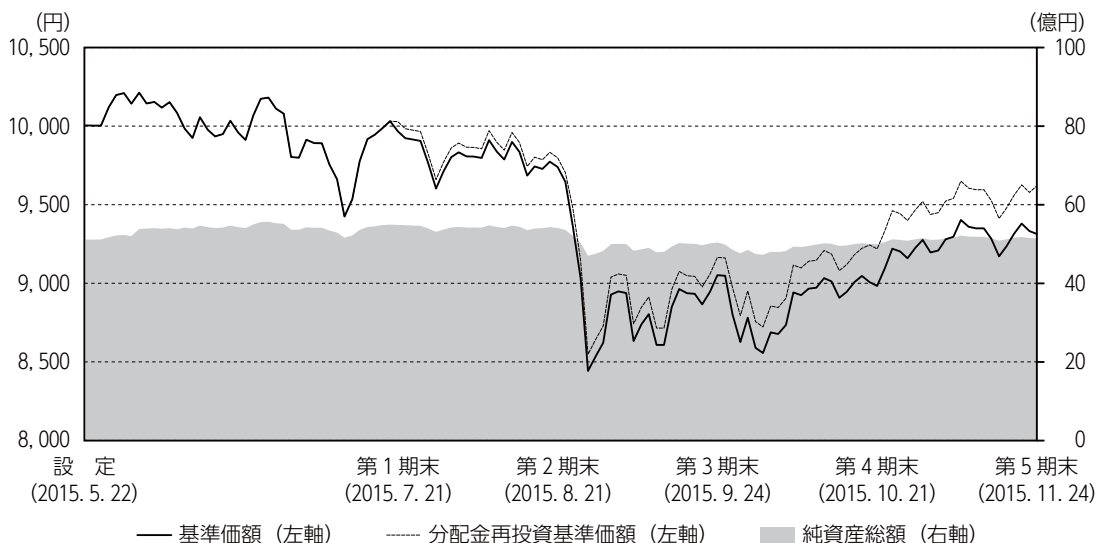
設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			M S C I A C World 指数 (配当込み、米ドルベース)		公 社 債 組 入 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2015年 7 月21日)	9,963	60	0.2	9,794	△ 2.1	0.1	96.9	5,478
2 期末 (2015年 8 月21日)	9,360	60	△ 5.5	9,285	△ 5.2	0.1	96.6	5,192
3 期末 (2015年 9 月24日)	8,800	60	△ 5.3	8,763	△ 5.6	0.1	96.5	4,841
4 期末 (2015年10月21日)	9,005	60	3.0	9,256	5.6	0.1	96.7	4,988
5 期末 (2015年11月24日)	9,311	60	4.1	9,350	1.0	0.1	98.1	5,131

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) M S C I A C World 指数（配当込み、米ドルベース）は、M S C I Inc. の承諾を得て、M S C I A C World 指数（配当込み、米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。M S C I A C World 指数（配当込み、米ドルベース）は、M S C I Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I Inc. に帰属します。またM S C I Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

設 定 時：10,000円

第5期末：9,311円（既払分配金300円）

騰 落 率：△3.8%（分配金再投資ベース）

■基準価額の変動要因

米ドルが対円で上昇したことや、株式のカバードコール戦略においてオプションプレミアムを確保したことはプラス要因でしたが、世界の株式市況が軟調に推移したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下がりました。

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）米ドル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World 指数 (配当込み、米ドルベース)		公 社 債 入 率 組 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率		
第 1 期	(設定) 2015年 5 月22日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	% —
	5 月末	10,205	2.1	9,886	△ 1.1	0.1	97.8
	6 月末	9,800	△ 2.0	9,590	△ 4.1	0.1	96.8
	(期末) 2015年 7 月21日	10,023	0.2	9,794	△ 2.1	0.1	96.9
第 2 期	(期首) 2015年 7 月21日	9,963	—	9,794	—	0.1	96.9
	7 月末	9,829	△ 1.3	9,644	△ 1.5	0.1	96.6
	(期末) 2015年 8 月21日	9,420	△ 5.5	9,285	△ 5.2	0.1	96.6
第 3 期	(期首) 2015年 8 月21日	9,360	—	9,285	—	0.1	96.6
	8 月末	8,946	△ 4.4	9,085	△ 2.2	0.1	97.5
	(期末) 2015年 9 月24日	8,860	△ 5.3	8,763	△ 5.6	0.1	96.5
第 4 期	(期首) 2015年 9 月24日	8,800	—	8,763	—	0.1	96.5
	9 月末	8,556	△ 2.8	8,525	△ 2.7	0.1	96.2
	(期末) 2015年10月21日	9,065	3.0	9,256	5.6	0.1	96.7
第 5 期	(期首) 2015年10月21日	9,005	—	9,256	—	0.1	96.7
	10 月末	9,274	3.0	9,385	1.4	0.1	96.8
	(期末) 2015年11月24日	9,371	4.1	9,350	1.0	0.1	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。(第 1 期は設定比。)

投資環境について

○世界株式市況

世界株式市況は、設定時より、ギリシャ問題に対する警戒感の高まりや米国の利上げ観測などから、上値が重い展開が続きました。さらに2015年8月以降は、中国での人民元の切下げを受けて、中国の景気減速懸念が高まったことなどから中国株が大幅に下落し、中国経済の悪化が世界的な景気減速につながるとの見方が強まり、株式市況は大幅に下落しました。しかし10月以降は、米国企業の業績が総じて市場予想を上回ったことや、ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁が追加金融緩和実施を示唆したこと、中国の追加金融緩和の発表などを好感し、下げ幅を縮小して第5期末を迎えました。

○為替相場

米ドルの対円相場は、設定時より、米国のマクロ経済指標などをを受けて米国の利上げへの期待が高まったことなどが支援材料となり、底堅い展開が続きました。2015年8月以降は、中国株式市況の急落などから投資家のリスク回避の円買いの動きが活発化したことで調整しました。10月以降は、ECBの金融緩和姿勢の拡大や中国の追加的な金融緩和を背景に市場のリスク選好度が高まったことで円売り圧力が強まったことなどをを受けて、設定来で上昇となりました。

○短期金利市況

米国では、政策金利の誘導目標レンジは0～0.25%で据え置かれました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは「ダイワ・プレミアム・トラストーミレーアセット・グローバル・ハイ・ディヴィデンド・エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）」（以下「エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）」といいます。）とダイワ・マネーストック・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

○エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）

株式の個別銘柄で寄与度が高かった銘柄は、LOCKHEED MARTIN（米国、資本財・サービス）や VALERO ENERGY（米国、エネルギー）、寄与度が低かった銘柄は、JIANGXI COPPER（中国、素材）や GREAT WALL MOTOR（中国、一般消費財・サービス）などでした。カバードコール戦略においては、株価の動きやボラティリティ（株価変動率）の変化に合わせてポートフォリオを構築し、オプションプレミアムの確保をめざしました。

また、原資産通貨（※）売り／米ドル買いの為替取引を行ないました。

（※）原資産通貨とは、保有資産の表示通貨をいいます。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

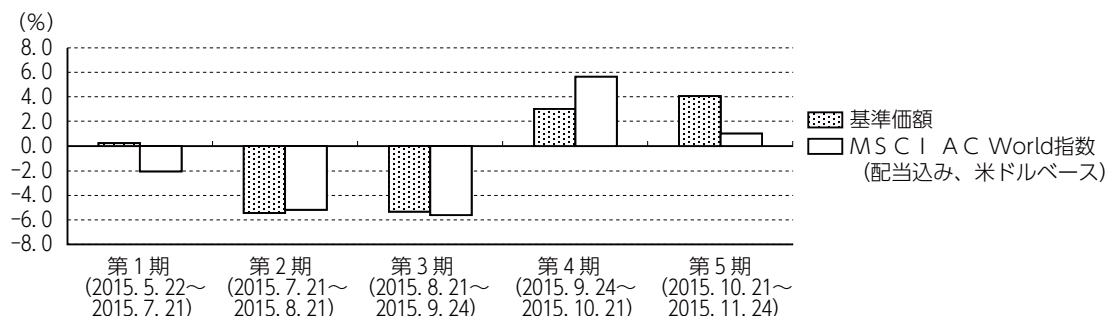
資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。

参考指数は世界株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

第1期から第5期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ60円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
		2015年5月22日 ～2015年7月21日	2015年7月22日 ～2015年8月21日	2015年8月22日 ～2015年9月24日	2015年9月25日 ～2015年10月21日	2015年10月22日 ～2015年11月24日
当期分配金（税込み）	(円)	60	60	60	60	60
対基準価額比率	(%)	0.60	0.64	0.68	0.66	0.64
当期の収益	(円)	60	60	60	60	60
当期の収益以外	(円)	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	18	58	93	109	146

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
(a) 経費控除後の配当等収益	77.86円	99.11円	94.15円	75.96円	96.35円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	0.44	1.21	2.99	5.14	5.39
(d) 分配準備積立金	0.00	17.68	55.91	88.78	104.50
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	78.31	118.01	153.06	169.89	206.25
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	18.31	58.01	93.06	109.89	146.25

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

今後も、エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○エクイティ・アルファ・ファンド（米ドル・クラス）

今後も、配当成長、フリーキャッシュフロー、株価バリュエーション、企業の財務体質などに着目した運用を行なってまいります。また、株主還元に積極的な企業へ注目が集まる中、配当とともに自社株買いを通じてEPS（1株当たり利益）やROE（株主資本利益率）の向上が期待できる銘柄にも注目していきます。カバードコール戦略においては、株価の動きやボラティリティの変化に合わせてポートフォリオを構築し、オプションプレミアムの確保をめざしてまいります。

また、原資産通貨売り／米ドル買いの為替取引を行ないます。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第 1 期～第 5 期		項 目 の 概 要
	(2015. 5. 22～2015. 11. 24)		
	金 額	比 率	
信託報酬	61円	0. 657%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9, 335円です。
(投信会社)	(18)	(0. 195)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(42)	(0. 446)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	62	0. 661	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2015年5月22日から2015年11月24日まで)

決 算 期	第 1 期 ～ 第 5 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	56,739.42	5,641,219	1,713.622	150,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年5月22日から2015年11月24日まで)

決 算 期	第 1 期 ～ 第 5 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	4,980	5,000	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年5月22日から2015年11月24日まで)

第 1 期 ～ 第 5 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
MIRAE ASSET GLOBAL HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	53,752.193	5,369,000	99	MIRAE ASSET GLOBAL HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	1,713.622	150,000	87

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第1期～第5期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第1期～第5期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年5月22日から2015年11月24日まで)

決 算 期	第 1 期 ～ 第 5 期					
	買付額等			売付額等		
	A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	39,162	4,559	11.6	—	—	—
コール・ローン	1,269,874	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	第 5 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) MIRAE ASSET GLOBAL HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA FUND USD CLASS	55,025.797	5,033,154	98.1

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年11月24日現在

項 目	第 5 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	5,033,154	96.9
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	5,000	0.1
コール・ローン等、その他	154,155	3.0
投資信託財産総額	5,192,311	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 5 期 末	
	□ 数	評 価 額
	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	4,980	5,000

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年7月21日)、(2015年8月21日)、(2015年9月24日)、(2015年10月21日)、(2015年11月24日) 現在

項 目	第 1 期末	第 2 期末	第 3 期末	第 4 期末	第 5 期末
(A) 資産	5,523,130,884円	5,231,268,162円	5,068,186,681円	5,026,936,648円	5,192,311,055円
コール・ローン等	209,449,565	211,915,168	189,231,396	197,365,182	154,155,845
投資信託受益証券 (評価額)	5,308,681,319	5,014,352,994	4,673,955,286	4,824,570,968	5,033,154,712
ダイワ・マネースtock・マザーファンド (評価額)	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,498	5,000,498
未収入金	—	—	199,999,999	—	—
(B) 負債	44,734,624	39,230,965	227,054,223	38,008,303	61,185,196
未払金	—	—	100,000,000	—	—
未払収益分配金	32,993,517	33,281,827	33,008,140	33,242,663	33,066,277
未払解約金	472,824	—	88,034,546	—	21,848,370
未払信託報酬	11,197,145	5,840,890	5,866,017	4,590,954	6,057,383
その他未払費用	71,138	108,248	145,520	174,686	213,166
(C) 純資産総額 (A－B)	5,478,396,260	5,192,037,197	4,841,132,458	4,988,928,345	5,131,125,859
元本	5,498,919,656	5,546,971,245	5,501,356,732	5,540,443,936	5,511,046,215
次期繰越損益金	△ 20,523,396	△ 354,934,048	△ 660,224,274	△ 551,515,591	△ 379,920,356
(D) 受益権総口数	5,498,919,656□	5,546,971,245□	5,501,356,732□	5,540,443,936□	5,511,046,215□
1万口当り基準価額 (C／D)	9,963円	9,360円	8,800円	9,005円	9,311円

* 設定時における元本額は5,101,446,187円、当作成期間（第1期～第5期）中における追加設定元本額は633,574,380円、同解約元本額は223,974,352円です。
* 第5期末の計算口数当りの純資産額は9,311円です。
* 第5期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は379,920,356円です。

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）米ドル・コース

■損益の状況

項 目	第 1 期		第 2 期		第 3 期		第 4 期		第 5 期	
	自2015年 5 月22日 自2015年 7 月22日 自2015年 8 月22日		自2015年 5 月22日 自2015年 7 月21日 自2015年 8 月21日 自2015年 9 月24日		自2015年 5 月22日 自2015年 7 月21日 自2015年 8 月21日 自2015年 9 月24日		自2015年 5 月22日 自2015年 7 月21日 自2015年 8 月21日 自2015年 9 月24日		自2015年 5 月22日 自2015年 7 月21日 自2015年 8 月21日 自2015年 9 月24日	
(A) 配当等収益		54,082,838円		60,857,478円		57,702,469円		43,421,209円		54,707,820円
受取配当金		54,042,122		60,847,957		57,693,250		43,412,621		54,698,572
受取利息		40,716		9,521		9,219		8,588		9,248
(B) 有価証券売買損益	△	34,368,644	△	355,102,993	△	321,989,838		106,845,736		153,093,103
売買益		2,663		79,572		6,707,541		107,037,111		153,651,097
売買損	△	34,371,307	△	355,182,565	△	328,697,379	△	191,375	△	557,994
(C) 信託報酬等	△	11,268,283	△	5,878,000	△	5,903,289	△	4,620,120	△	6,095,863
(D) 当期損益金 (A + B + C)		8,445,911	△	300,123,515	△	270,190,658		145,646,825		201,705,060
(E) 前期繰越損益金		—	△	24,516,575	△	349,446,823	△	647,899,410	△	531,403,427
(F) 追加信託差損益金		4,024,210		2,987,869	△	7,578,653	△	16,020,343	△	17,155,712
(配当等相当額)	(	247,370)	(	675,558)	(	1,647,097)	(	2,853,139)	(	2,973,604)
(売買損益相当額)	(	3,776,840)	(	2,312,311)	(△	9,225,750)	(△	18,873,482)	(△	20,129,316)
(G) 合計 (D + E + F)		12,470,121	△	321,652,221	△	627,216,134	△	518,272,928	△	346,854,079
(H) 収益分配金	△	32,993,517	△	33,281,827	△	33,008,140	△	33,242,663	△	33,066,277
次期繰越損益金 (G + H)	△	20,523,396	△	354,934,048	△	660,224,274	△	551,515,591	△	379,920,356
追加信託差損益金		4,024,210		2,987,869	△	7,578,653	△	16,020,343	△	17,155,712
(配当等相当額)	(	247,370)	(	675,558)	(	1,647,097)	(	2,853,139)	(	2,973,604)
(売買損益相当額)	(	3,776,840)	(	2,312,311)	(△	9,225,750)	(△	18,873,482)	(△	20,129,316)
分配準備積立金		9,821,263		31,506,603		49,551,720		58,034,818		77,628,023
繰越損益金	△	34,368,869	△	389,428,520	△	702,197,341	△	593,530,066	△	440,392,667

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
(a) 経費控除後の配当等収益	42,814,780円	54,979,582円	51,799,289円	42,086,114円	53,102,938円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	247,370	675,558	1,647,097	2,853,139	2,973,604
(d) 分配準備積立金	0	9,808,848	30,760,571	49,191,367	57,591,362
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	43,062,150	65,463,988	84,206,957	94,130,620	113,667,904
(f) 分配金	32,993,517	33,281,827	33,008,140	33,242,663	33,066,277
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	10,068,633	32,182,161	51,198,817	60,887,957	80,601,627
(h) 受益権総口数	5,498,919,656□	5,546,971,245□	5,501,356,732□	5,540,443,936□	5,511,046,215□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ					
1 万 口 当 り 分 配 金	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
	60円	60円	60円	60円	60円
(単 価)	(9, 963円)	(9, 360円)	(8, 800円)	(9, 005円)	(9, 311円)

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％および地方税5％）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★ブラジル・リアル・コース

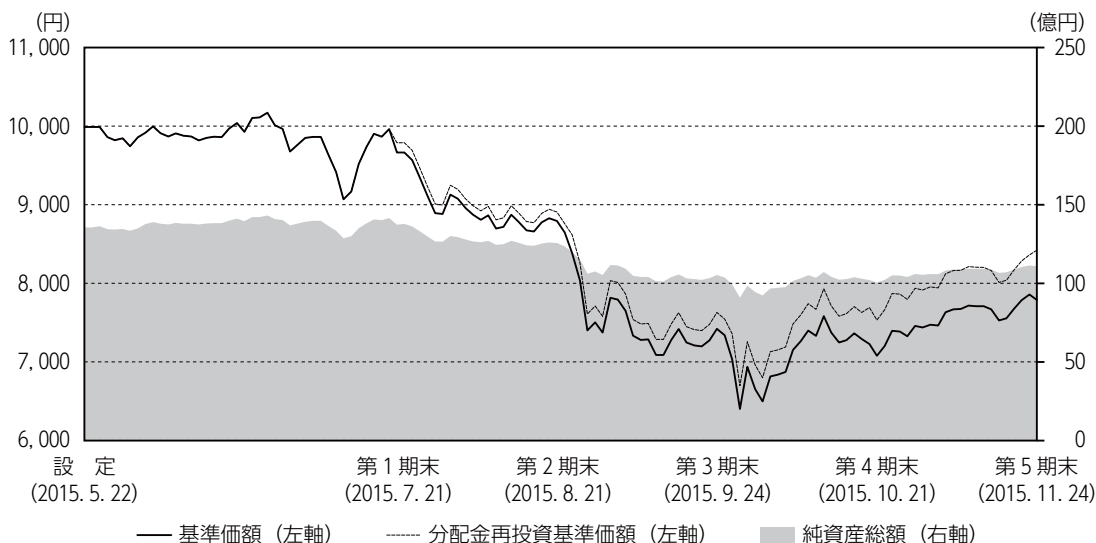
設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			MSCI AC World 指数 (配当込み、米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組 入 比 率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
1 期末 (2015年 7 月21日)	9,673	125	△ 2.0	9,794	△ 2.1	38.91	△ 2.3	0.1	97.5	13,762
2 期末 (2015年 8 月21日)	8,390	125	△ 12.0	9,285	△ 5.2	35.70	△ 8.2	0.1	98.1	12,005
3 期末 (2015年 9 月24日)	7,037	125	△ 14.6	8,763	△ 5.6	28.76	△ 19.4	0.1	97.6	9,966
4 期末 (2015年10月21日)	7,230	125	4.5	9,256	5.6	30.71	6.8	0.1	98.0	10,229
5 期末 (2015年11月24日)	7,793	125	9.5	9,350	1.0	32.92	7.2	0.1	97.6	11,118

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
- (注 5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

設 定 時：10,000円

第5期末：7,793円（既払分配金625円）

騰 落 率：△15.7%（分配金再投資ベース）

■基準価額の変動要因

株式のカバードコール戦略においてオプションプレミアムを確保したことや、原資産通貨（※）売り／ブラジル・リアル買いの為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）などはプラス要因でしたが、世界の株式市況が軟調に推移したことやブラジル・リアルが対円で下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下がりました。

（※）原資産通貨とは、保有資産の表示通貨をいいます。

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		M S C I A C World 指数 (配当込み、米ドルベース)		ブラジル・レアル 為替レート		公社債 組 入 比 率	投資信託 受益証券 組入比率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第 1 期	(設定) 2015年 5 月22日	円 10,000	% —	10,000	% —	円 39.84	% —	% —	% —
	5 月末	9,855	△ 1.5	9,886	△ 1.1	39.12	△ 1.8	0.1	98.0
	6 月末	9,687	△ 3.1	9,590	△ 4.1	39.27	△ 1.4	0.1	95.9
	(期末) 2015年 7 月21日	9,798	△ 2.0	9,794	△ 2.1	38.91	△ 2.3	0.1	97.5
第 2 期	(期首) 2015年 7 月21日	9,673	—	9,794	—	38.91	—	0.1	97.5
	7 月末	9,085	△ 6.1	9,644	△ 1.5	36.78	△ 5.5	0.1	97.0
	(期末) 2015年 8 月21日	8,515	△ 12.0	9,285	△ 5.2	35.70	△ 8.2	0.1	98.1
第 3 期	(期首) 2015年 8 月21日	8,390	—	9,285	—	35.70	—	0.1	98.1
	8 月末	7,799	△ 7.0	9,085	△ 2.2	33.82	△ 5.3	0.1	97.9
	(期末) 2015年 9 月24日	7,162	△ 14.6	8,763	△ 5.6	28.76	△ 19.4	0.1	97.6
第 4 期	(期首) 2015年 9 月24日	7,037	—	8,763	—	28.76	—	0.1	97.6
	9 月末	6,500	△ 7.6	8,525	△ 2.7	29.53	2.7	0.1	96.9
	(期末) 2015年10月21日	7,355	4.5	9,256	5.6	30.71	6.8	0.1	98.0
第 5 期	(期首) 2015年10月21日	7,230	—	9,256	—	30.71	—	0.1	98.0
	10月末	7,442	2.9	9,385	1.4	31.39	2.2	0.1	97.7
	(期末) 2015年11月24日	7,918	9.5	9,350	1.0	32.92	7.2	0.1	97.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。(第 1 期は設定比。)

投資環境について

○世界株式市況

世界株式市況は、設定時より、ギリシャ問題に対する警戒感の高まりや米国の利上げ観測などから、上値が重い展開が続きました。さらに2015年8月以降は、中国での人民元の切下げを受けて、中国の景気減速懸念が高まったことなどから中国株が大幅に下落し、中国経済の悪化が世界的な景気減速につながるとの見方が強まり、株式市況は大幅に下落しました。しかし10月以降は、米国企業の業績が総じて市場予想を上回ったことや、ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁が追加金融緩和実施を示唆したこと、中国の追加金融緩和の発表などを好感し、下げ幅を縮小して第5期末を迎えました。

○為替相場

ブラジル・レアルの対円相場は、設定時より、おおむねレンジ内での推移が続きましたが、2015年7月以降には、中国経済に対する懸念が深まるに連れて投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、また、ブラジルにおいて政治的不透明感が高まっていることや国内景気鈍化への懸念が高まっていることなどを背景として、下落基調が続きました。10月以降は、米国の利上げ観測が後退したため、新興国通貨全般に対する不透明感が和らいだことから下げ幅を縮小しましたが、設定来で下落となりました。

○短期金利市況

ブラジル・レアルの短期金利は、インフレ懸念による利上げ観測などを背景に、上昇基調が続き、原資産通貨の短期金利をおおむね上回って推移しました。

原資産通貨の中で最もウエートの高い米国では、政策金利の誘導目標レンジは0～0.25%で据え置かれました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは「ダイワ・プレミアム・トラストーミレーアセット・グローバル・ハイ・ディヴィデンド・エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」（以下「エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」といいます。）とダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

○エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

株式の個別銘柄で寄与度が高かった銘柄は、LOCKHEED MARTIN（米国、資本財・サービス）や VALERO ENERGY（米国、エネルギー）、寄与度が低かった銘柄は、JIANGXI COPPER（中国、素材）や GREAT WALL MOTOR（中国、一般消費財・サービス）などでした。カバードコール戦略においては、株価の動きやボラティリティ（株価変動率）の変化に合わせてポートフォリオを構築し、オプションプレミアムの確保をめざしました。

また、原資産通貨売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないました。

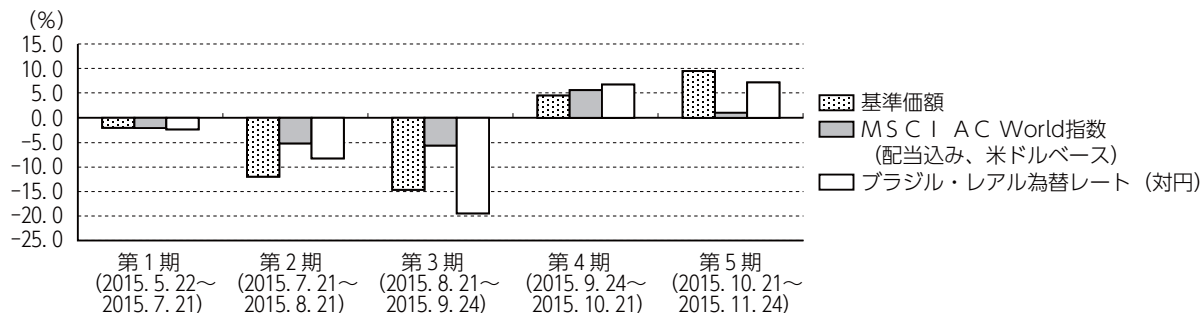
○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第1期から第5期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ125円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
		2015年5月22日 ～2015年7月21日	2015年7月22日 ～2015年8月21日	2015年8月22日 ～2015年9月24日	2015年9月25日 ～2015年10月21日	2015年10月22日 ～2015年11月24日
当期分配金（税込み）	(円)	125	125	125	125	125
対基準価額比率	(%)	1.28	1.47	1.75	1.70	1.58
当期の収益	(円)	125	125	125	125	125
当期の収益以外	(円)	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	96	179	238	257	286

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
(a) 経費控除後の配当等収益	220.62円	207.34円	184.16円	143.48円	153.63円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	0.45	2.46	3.49	4.80	9.52
(d) 分配準備積立金	0.00	94.55	175.97	233.86	248.77
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	221.07	304.36	363.64	382.15	411.93
(f) 分配金	125.00	125.00	125.00	125.00	125.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	96.07	179.36	238.64	257.15	286.93

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

今後も、エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○エクイティ・アルファ・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

今後も、配当成長、フリーキャッシュフロー、株価バリュエーション、企業の財務体質などに着目した運用を行なってまいります。また、株主還元に積極的な企業へ注目が集まる中、配当とともに自社株買いを通じてEPS（1株当たり利益）やROE（株主資本利益率）の向上が期待できる銘柄にも注目していきます。カバードコール戦略においては、株価の動きやボラティリティの変化に合わせてポートフォリオを構築し、オプションプレミアムの確保をめざしてまいります。

また、原資産通貨売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないます。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第 1 期～第 5 期		項 目 の 概 要
	(2015. 5. 22～2015. 11. 24)		
	金 額	比 率	
信託報酬	55円	0. 672%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8, 160円です。
(投信会社)	(16)	(0. 199)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(37)	(0. 456)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0. 017)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	55	0. 676	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2015年 5月22日から2015年11月24日まで)

決 算 期	第 1 期 ～ 第 5 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	156,045,748	15,182,583	10,477,628	780,000

(注 1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注 2) 金額は受渡し代金。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年 5月22日から2015年11月24日まで)

決 算 期	第 1 期 ～ 第 5 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	12,948	13,000	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2015年 5月22日から2015年11月24日まで)

第 1 期 ～ 第 5 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
MIRAE ASSET GLOBAL HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	138,438.334	13,820,000	99	MIRAE ASSET GLOBAL HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	10,477.628	780,000	74

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第 1 期～第 5 期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第 1 期～第 5 期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年 5月22日から2015年11月24日まで)

決 算 期	第 1 期 ～ 第 5 期					
	買付額等			売付額等		
	A	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	C	うち利害関係人との取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	39,162	4,559	11.6	—	—	—
コール・ローン	1,269,874	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合 0.1%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	第 5 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) MIRAE ASSET GLOBAL HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA FUND BRL CLASS	145,568.119	10,852,248	97.6

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年11月24日現在

項 目	第 5 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	10,852,248	95.9
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	13,001	0.1
コール・ローン等、その他	450,489	4.0
投資信託財産総額	11,315,739	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 5 期 末	
	□ 数	評 価 額
	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	12,948	13,001

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年7月21日)、(2015年8月21日)、(2015年9月24日)、(2015年10月21日)、(2015年11月24日)現在

項 目	第 1 期末	第 2 期末	第 3 期末	第 4 期末	第 5 期末
(A) 資産	14,124,704,784円	12,198,664,811円	10,504,686,876円	10,586,416,927円	11,315,739,458円
コール・ローン等	394,178,110	408,536,820	162,956,193	211,545,364	450,489,278
投資信託受益証券（評価額）	13,417,526,674	11,777,127,991	9,728,730,684	10,021,870,269	10,852,248,885
ダイワ・マネースtock・マザーファンド（評価額）	13,000,000	13,000,000	13,000,000	13,001,295	13,001,295
未収入金	300,000,000	—	599,999,999	339,999,999	—
(B) 負債	361,712,489	192,987,430	537,987,214	356,677,609	196,904,224
未払金	150,000,000	—	300,000,000	170,000,000	—
未払収益分配金	177,858,180	178,863,955	177,041,922	176,852,290	178,340,764
未払解約金	4,819,353	—	47,928,492	—	5,368,300
未払信託報酬	28,851,608	13,852,100	12,664,947	9,413,647	12,702,767
その他未払費用	183,348	271,375	351,853	411,672	492,393
(C) 純資産総額（A－B）	13,762,992,295	12,005,677,381	9,966,699,662	10,229,739,318	11,118,835,234
元本	14,228,654,437	14,309,116,420	14,163,353,762	14,148,183,273	14,267,261,154
次期繰越損益金	△ 465,662,142	△ 2,303,439,039	△ 4,196,654,100	△ 3,918,443,955	△ 3,148,425,920
(D) 受益権総口数	14,228,654,437口	14,309,116,420口	14,163,353,762口	14,148,183,273口	14,267,261,154口
1万口当り基準価額（C／D）	9,673円	8,390円	7,037円	7,230円	7,793円

* 設定時における元本額は13,595,142,428円、当作成期間（第1期～第5期）中における追加設定元本額は1,192,257,910円、同解約元本額は520,139,184円です。

* 第5期末の計算口数当りの純資産額は7,793円です。

* 第5期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,148,425,920円です。

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）ブラジル・リアル・コース

■損益の状況

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
	自2015年5月22日	自2015年7月21日	自2015年9月25日	自2015年10月21日	自2015年11月24日
	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
	自2015年7月22日	自2015年8月21日	自2015年9月24日	自2015年10月22日	自2015年11月24日
項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
(A) 配当等収益	342,951,648円	310,629,129円	273,584,045円	207,279,893円	222,070,619円
受取配当金	342,840,140	310,608,277	273,570,629	207,268,263	222,056,209
受取利息	111,508	20,852	13,416	11,630	14,410
(B) 有価証券売買損益	△ 594,350,979	△ 1,945,366,156	△ 1,998,748,257	252,778,398	765,943,632
売買益	964,838	6,643,494	25,738,550	254,618,282	767,740,474
売買損	△ 595,315,817	△ 1,952,009,650	△ 2,024,486,807	△ 1,839,884	△ 1,796,842
(C) 信託報酬等	△ 29,034,956	△ 13,940,127	△ 12,745,425	△ 9,473,466	△ 12,783,488
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 280,434,287	△ 1,648,677,154	△ 1,737,909,637	450,584,825	975,230,763
(E) 前期繰越損益金	—	△ 455,744,448	△ 2,248,267,485	△ 4,136,074,979	△ 3,839,627,959
(F) 追加信託差損益金	△ 7,369,675	△ 20,153,482	△ 33,435,056	△ 56,101,511	△ 105,687,960
(配当等相当額)	(645,682)	(3,533,452)	(4,952,625)	(6,801,959)	(13,594,256)
(売買損益相当額)	(△ 8,015,357)	(△ 23,686,934)	(△ 38,387,681)	(△ 62,903,470)	(△ 119,282,216)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 287,803,962	△ 2,124,575,084	△ 4,019,612,178	△ 3,741,591,665	△ 2,970,085,156
(H) 収益分配金	△ 177,858,180	△ 178,863,955	△ 177,041,922	△ 176,852,290	△ 178,340,764
次期繰越損益金 (G + H)	△ 465,662,142	△ 2,303,439,039	△ 4,196,654,100	△ 3,918,443,955	△ 3,148,425,920
追加信託差損益金	△ 7,369,675	△ 20,153,482	△ 33,435,056	△ 56,101,511	△ 105,687,960
(配当等相当額)	(645,682)	(3,533,452)	(4,952,625)	(6,801,959)	(13,594,256)
(売買損益相当額)	(△ 8,015,357)	(△ 23,686,934)	(△ 38,387,681)	(△ 62,903,470)	(△ 119,282,216)
分配準備積立金	136,059,106	253,127,966	333,042,807	357,030,555	395,787,406
繰越損益金	△ 594,351,573	△ 2,536,413,523	△ 4,496,261,851	△ 4,219,372,999	△ 3,438,525,366

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
(a) 経費控除後の配当等収益	313,917,286円	296,689,279円	260,838,913円	203,011,467円	219,197,316円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	645,682	3,533,452	4,952,625	6,801,959	13,594,256
(d) 分配準備積立金	0	135,302,642	249,245,816	330,871,378	354,930,854
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	314,562,968	435,525,373	515,037,354	540,684,804	587,722,426
(f) 分配金	177,858,180	178,863,955	177,041,922	176,852,290	178,340,764
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	136,704,788	256,661,418	337,995,432	363,832,514	409,381,662
(h) 受益権総口数	14,228,654,437口	14,309,116,420口	14,163,353,762口	14,148,183,273口	14,267,261,154口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ					
1 万 口 当 り 分 配 金	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
	125円	125円	125円	125円	125円
(単 価)	(9, 673円)	(8, 390円)	(7, 037円)	(7, 230円)	(7, 793円)

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★通貨セレクト・コース

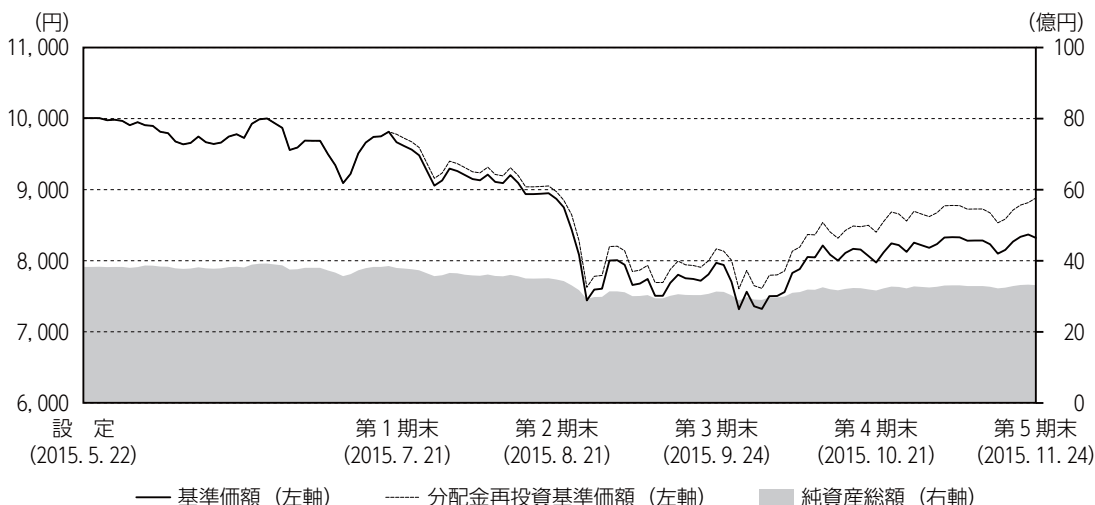
設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			M S C I A C World 指数 (配当込み、米ドルベース)		公 社 債 組 入 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2015年 7 月21日)	9,662	110	△ 2.3	9,794	△ 2.1	0.1	98.4	3,790
2 期末 (2015年 8 月21日)	8,436	110	△ 11.6	9,285	△ 5.2	0.1	96.9	3,301
3 期末 (2015年 9 月24日)	7,702	110	△ 7.4	8,763	△ 5.6	0.1	97.8	3,024
4 期末 (2015年10月21日)	8,065	110	6.1	9,256	5.6	0.1	98.7	3,189
5 期末 (2015年11月24日)	8,319	110	4.5	9,350	1.0	0.1	98.2	3,305

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) M S C I A C World 指数（配当込み、米ドルベース）は、M S C I Inc. の承諾を得て、M S C I A C World 指数（配当込み、米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。M S C I A C World 指数（配当込み、米ドルベース）は、M S C I Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I Inc. に帰属します。またM S C I Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかにについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

設 定 時：10,000円

第5期末：8,319円（既払分配金550円）

騰 落 率：△11.2%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

株式のカバードコール戦略においてオプションプレミアムを確保したことや、原資産通貨（※1）売り／選定通貨（※2）買いの為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）などはプラス要因でしたが、世界の株式市況が軟調に推移したことや選定通貨が対円で下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下がりました。

（※1）原資産通貨とは、保有資産の表示通貨をいいます。

（※2）選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）通貨セレクト・コース

	年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World 指数 (配当込み、米ドルベース)		公 社 債 組 入 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第 1 期		円	%		%	%	%
	(設定) 2015年 5 月22日	10,000	—	10,000	—	—	—
	5 月末	9,960	△ 0.4	9,886	△ 1.1	0.1	97.6
	6 月末	9,551	△ 4.5	9,590	△ 4.1	0.1	97.2
第 2 期	(期末) 2015年 7 月21日	9,772	△ 2.3	9,794	△ 2.1	0.1	98.4
	(期首) 2015年 7 月21日	9,662	—	9,794	—	0.1	98.4
	7 月末	9,256	△ 4.2	9,644	△ 1.5	0.1	98.2
	(期末) 2015年 8 月21日	8,546	△ 11.6	9,285	△ 5.2	0.1	96.9
第 3 期	(期首) 2015年 8 月21日	8,436	—	9,285	—	0.1	96.9
	8 月末	8,004	△ 5.1	9,085	△ 2.2	0.1	96.7
	(期末) 2015年 9 月24日	7,812	△ 7.4	8,763	△ 5.6	0.1	97.8
第 4 期	(期首) 2015年 9 月24日	7,702	—	8,763	—	0.1	97.8
	9 月末	7,321	△ 4.9	8,525	△ 2.7	0.1	97.0
	(期末) 2015年10月21日	8,175	6.1	9,256	5.6	0.1	98.7
第 5 期	(期首) 2015年10月21日	8,065	—	9,256	—	0.1	98.7
	10 月末	8,213	1.8	9,385	1.4	0.1	98.5
	(期末) 2015年11月24日	8,429	4.5	9,350	1.0	0.1	98.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。(第 1 期は設定比。)

投資環境について

○世界株式市況

世界株式市況は、設定時より、ギリシャ問題に対する警戒感の高まりや米国の利上げ観測などから、上値が重い展開が続きました。さらに2015年8月以降は、中国での人民元の切下げを受けて、中国の景気減速懸念が高まったことなどから中国株が大幅に下落し、中国経済の悪化が世界的な景気減速につながるとの見方が強まり、株式市況は大幅に下落しました。しかし10月以降は、米国企業の業績が総じて市場予想を上回ったことや、ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁が追加金融緩和実施を示唆したこと、中国の追加金融緩和の発表などを好感し、下げ幅を縮小して第5期末を迎えました。

○為替相場

選定通貨の対円相場は、設定時から2015年6月末にかけては、ギリシャと国際債権団の支援協議が難航し市場のリスク回避姿勢が強まったことから、安全資産としての円が買われ（円高）、選定通貨は対円でおおむね下落しました。7月から9月末にかけても、中国株式市況や商品価格の下落に加え、中国の人民元切下げをきっかけに中国や新興国の景気減速懸念が高まったことで、選定通貨は対円で下落しました。しかし10月に入ると、米国の利上げ観測が後退して金融緩和環境が維持されるとの期待から、資源国通貨や新興国通貨が買い戻され、選定通貨も対円で上昇しました。11月以降は、米国の年内利上げ観測の高まりが注目されましたが、各国個別の要因から選定通貨は対円でまちまちな動きとなりました。

当作成期間においては、インド・ルピー、ロシア・ルーブル、南アフリカ・ランド、ブラジル・レアル、トルコ・リラ、インドネシア・ルピアを選定通貨とし、すべての通貨が対円で下落しました。

○短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に原資産通貨の短期金利をおおむね上回って推移しました。

原資産通貨の中で最もウエートの高い米国では政策金利の誘導目標レンジは0～0.25%で据え置かれました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは「ダイワ・プレミアム・トラストーミレーアセット・グローバル・ハイ・ディヴィデンド・エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）」（以下「エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）」といいます。）とダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合は信託財産の純資産総額の95% 程度以上とすることをめざしました。

○エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）

株式の個別銘柄で寄与度が高かった銘柄は、LOCKHEED MARTIN（米国、資本財・サービス）や VALERO ENERGY（米国、エネルギー）、寄与度が低かった銘柄は、JIANGXI COPPER（中国、素材）や GREAT WALL MOTOR（中国、一般消費財・サービス）などでした。カバードコール戦略においては、株価の動きやボラティリティ（株価変動率）の変化に合わせてポートフォリオを構築し、オプションプレミアムの確保をめざしました。

また、原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を行ないました。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

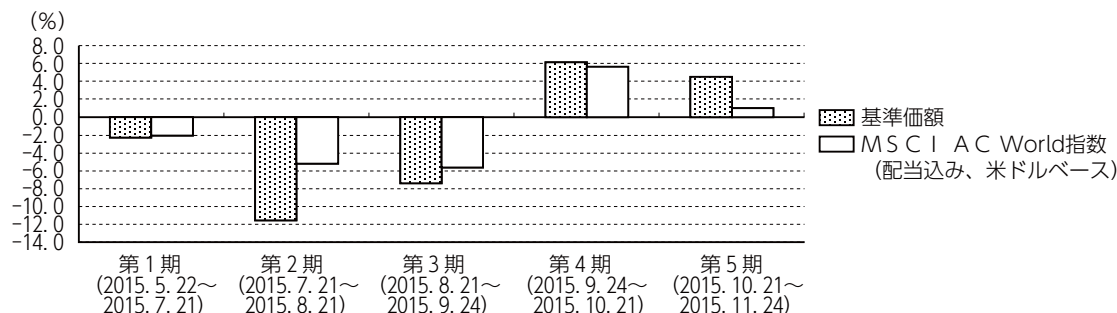
資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。

参考指数は世界株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

第1期から第5期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ110円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
		2015年5月22日 ～2015年7月21日	2015年7月22日 ～2015年8月21日	2015年8月22日 ～2015年9月24日	2015年9月25日 ～2015年10月21日	2015年10月22日 ～2015年11月24日
当期分配金（税込み）	(円)	110	110	110	110	110
対基準価額比率	(%)	1.13	1.29	1.41	1.35	1.31
当期の収益	(円)	110	110	110	110	110
当期の収益以外	(円)	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	66	130	184	208	245

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
(a) 経費控除後の配当等収益	175.92円	173.90円	163.51円	134.68円	145.98円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	0.14	0.35	1.61	3.12	4.45
(d) 分配準備積立金	0.00	65.75	128.96	181.09	204.80
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	176.07	240.02	294.09	318.90	355.24
(f) 分配金	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	66.07	130.02	184.09	208.90	245.24

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

今後も、エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○エクイティ・アルファ・ファンド（通貨セレクト・クラス）

今後も、配当成長、フリーキャッシュフロー、株価バリュエーション、企業の財務体質などに着目した運用を行なってまいります。また、株主還元に積極的な企業へ注目が集まる中、配当とともに自社株買いを通じてEPS（１株当り利益）やROE（株主資本利益率）の向上が期待できる銘柄にも注目していきます。カバードコール戦略においては、株価の動きやボラティリティの変化に合わせてポートフォリオを構築し、オプションプレミアムの確保をめざしてまいります。

また、原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を行ないます。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第 1 期～第 5 期		項 目 の 概 要
	(2015. 5. 22～2015. 11. 24)		
	金 額	比 率	
信託報酬	57円	0. 665%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8, 532円です。
(投信会社)	(17)	(0. 197)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(38)	(0. 451)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0. 017)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	57	0. 669	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2015年5月22日から2015年11月24日まで)

決 算 期	第 1 期 ～ 第 5 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	42, 173. 845	4, 142, 594	1, 795. 735	150, 000

(注 1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注 2) 金額は受渡し代金。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年5月22日から2015年11月24日まで)

決 算 期	第 1 期 ～ 第 5 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	3, 685	3, 700	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年5月22日から2015年11月24日まで)

第 1 期 ～ 第 5 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
MIRAE ASSET GLOBAL HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS (ケイマン諸島)	38, 123. 842	3, 812, 000	99	MIRAE ASSET GLOBAL HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS (ケイマン諸島)	1, 795. 735	150, 000	83

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第 1 期～第 5 期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第 1 期～第 5 期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年5月22日から2015年11月24日まで)

決 算 期	第 1 期 ～ 第 5 期					
	買付額等 A	うち利 害 関係人との 取引状況 B		売付額等 C	うち利 害 関係人との 取引状況 D	
		B/A			D/C	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	39, 162	4, 559	11. 6	—	—	—
コール・ローン	1, 269, 874	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0. 0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 5 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) MIRAE ASSET GLOBAL HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS	40,378.109	3,245,269	98.2

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年11月24日現在

項 目	第 5 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	3,245,269	96.8
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	3,700	0.1
コール・ローン等、その他	104,737	3.1
投資信託財産総額	3,353,707	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 5 期 末	
	□ 数	評 価 額
	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	3,685	3,700

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年7月21日)、(2015年8月21日)、(2015年9月24日)、(2015年10月21日)、(2015年11月24日) 現在

項 目	第 1 期末	第 2 期末	第 3 期末	第 4 期末	第 5 期末
(A) 資産	3,842,124,373円	3,448,516,214円	3,071,371,597円	3,236,222,643円	3,353,707,396円
コール・ローン等	107,047,363	46,806,821	110,869,974	85,673,117	104,737,598
投資信託受益証券（評価額）	3,731,377,010	3,198,009,394	2,956,801,623	3,146,849,158	3,245,269,430
ダイワ・マネースtock・マザーファンド（評価額）	3,700,000	3,700,000	3,700,000	3,700,368	3,700,368
未収入金	—	199,999,999	—	—	—
(B) 負債	51,152,470	147,005,459	46,936,716	46,515,626	47,721,956
未払金	—	100,000,000	—	—	—
未払収益分配金	43,160,709	43,048,123	43,193,794	43,506,324	43,715,035
未払信託報酬	7,941,311	3,882,229	3,644,667	2,892,674	3,865,741
その他未払費用	50,450	75,107	98,255	116,628	141,180
(C) 純資産総額（A－B）	3,790,971,903	3,301,510,755	3,024,434,881	3,189,707,017	3,305,985,440
元本	3,923,700,876	3,913,465,799	3,926,708,606	3,955,120,431	3,974,094,137
次期繰越損益金	△ 132,728,973	△ 611,955,044	△ 902,273,725	△ 765,413,414	△ 668,108,697
(D) 受益権総口数	3,923,700,876口	3,913,465,799口	3,926,708,606口	3,955,120,431口	3,974,094,137口
1万口当り基準価額（C／D）	9.662円	8.436円	7.702円	8.065円	8.319円

* 設定時における元本額は3,818,539,632円、当作成期間（第1期～第5期）中における追加設定元本額は189,289,465円、同解約元本額は33,734,960円です。

* 第5期末の計算口数当りの純資産額は8,319円です。

* 第5期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は668,108,697円です。

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）通貨セレクト・コース

■損益の状況

項 目	第 1 期		第 2 期		第 3 期		第 4 期		第 5 期	
	自2015年 5 月22日 自2015年 7 月22日 自2015年 8 月22日		自2015年 7 月21日 自2015年 8 月21日 自2015年 9 月24日		自2015年 9 月25日 自2015年10月22日 自2015年10月21日 自2015年11月24日		自2015年 9 月25日 自2015年10月22日 自2015年10月21日 自2015年11月24日		自2015年 9 月25日 自2015年10月22日 自2015年10月21日 自2015年11月24日	
(A) 配当等収益	77,018,906円		71,965,092円		67,875,444円		54,100,308円		59,577,133円	
受取配当金	76,989,748		71,962,150		67,869,784		54,096,657		59,574,257	
受取利息	29,158		2,942		5,660		3,651		2,876	
(B) 有価証券売買損益	△ 157,437,518		△ 504,433,685		△ 308,344,773		135,872,683		88,846,015	
売買益	163,082		906,945		746,627		135,930,578		88,846,015	
売買損	△ 157,600,600		△ 505,340,630		△ 309,091,400		△ 57,895			
(C) 信託報酬等	△ 7,991,761		△ 3,906,886		△ 3,667,815		△ 2,911,047		△ 3,890,293	
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 88,410,373		△ 436,375,479		△ 244,137,144		187,061,944		144,532,855	
(E) 前期繰越損益金	—		130,900,792		609,059,982		896,026,395		752,470,775	
(F) 追加信託差損益金	△ 1,157,891		△ 1,630,650		△ 5,882,805		△ 12,942,639		△ 16,455,742	
(配当等相当額)	(57,327)		(138,927)		(634,082)		(1,235,589)		(1,772,441)	
(売買損益相当額)	(△ 1,215,218)		(△ 1,769,577)		(△ 6,516,887)		(△ 14,178,228)		(△ 18,228,183)	
(G) 合計 (D + E + F)	△ 89,568,264		△ 568,906,921		△ 859,079,931		△ 721,907,090		△ 624,393,662	
(H) 収益分配金	△ 43,160,709		△ 43,048,123		△ 43,193,794		△ 43,506,324		△ 43,715,035	
次期繰越損益金 (G + H)	△ 132,728,973		△ 611,955,044		△ 902,273,725		△ 765,413,414		△ 668,108,697	
追加信託差損益金	△ 1,157,891		△ 1,630,650		△ 5,882,805		△ 12,942,639		△ 16,455,742	
(配当等相当額)	(57,327)		(138,927)		(634,082)		(1,235,589)		(1,772,441)	
(売買損益相当額)	(△ 1,215,218)		(△ 1,769,577)		(△ 6,516,887)		(△ 14,178,228)		(△ 18,228,183)	
分配準備積立金	25,866,597		50,744,979		71,653,765		81,389,632		95,690,283	
繰越損益金	△ 157,437,679		△ 661,069,373		△ 968,044,685		△ 833,860,407		△ 747,343,238	

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
(a) 経費控除後の配当等収益	69,027,306円	68,058,283円	64,207,709円	53,271,330円	58,015,686円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	57,327	138,927	634,082	1,235,589	1,772,441
(d) 分配準備積立金	0	25,734,819	50,639,850	71,624,626	81,389,632
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	69,084,633	93,932,029	115,481,641	126,131,545	141,177,759
(f) 分配金	43,160,709	43,048,123	43,193,794	43,506,324	43,715,035
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	25,923,924	50,883,906	72,287,847	82,625,221	97,462,724
(h) 受益権総口数	3,923,700,876口	3,913,465,799口	3,926,708,606口	3,955,120,431口	3,974,094,137口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ					
1 万 口 当 り 分 配 金	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
	110円	110円	110円	110円	110円
(単 価)	(9, 662円)	(8, 436円)	(7, 702円)	(8, 065円)	(8, 319円)

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株 α （毎月分配型）

ダイワ・プレミアム・トラストーミレーアセット・グローバル・ハイ・ディヴィデンド・エクイティ・
アルファ・ファンド

米ドル・クラス／ブラジル・リアル・クラス／通貨セレクト・クラス

「通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株 α （毎月分配型） 米ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／通貨セレクト・コース」の主要投資対象であるケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーミレーアセット・グローバル・ハイ・ディヴィデンド・エクイティ・アルファ・ファンド 米ドル・クラス／ブラジル・リアル・クラス／通貨セレクト・クラス」は、2015年10月30日に第1期決算を迎えておりますが、2015年11月24日現在、決算情報を入手できておりません。

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2014年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第5期の決算日（2015年11月24日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を38～39ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2015年5月22日から2015年11月24日まで)

買 付			売 付		
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
千円			千円		
540	国庫短期証券 2015/9/24	3,799,996			
567	国庫短期証券 2016/2/8	2,999,997			
555	国庫短期証券 2015/12/7	2,500,000			
553	国庫短期証券 2015/11/24	2,060,000			
536	国庫短期証券 2015/9/7	2,000,000			
548	国庫短期証券 2015/11/2	2,000,000			
550	国庫短期証券 2015/11/9	2,000,000			
554	国庫短期証券 2015/11/30	2,000,000			
559	国庫短期証券 2015/12/21	2,000,000			
557	国庫短期証券 2015/12/14	1,999,999			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2015年11月24日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（28,312,942千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2015年11月24日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	16,920,000	16,922,068	59.5	—	—	—	59.5

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2015年11月24日現在						
区 分		銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
国債証券		554 国庫短期証券	—	2,000,000	2,000,000	2015/11/30
		555 国庫短期証券	—	2,500,000	2,500,000	2015/12/07
		557 国庫短期証券	—	2,000,000	1,999,999	2015/12/14
		559 国庫短期証券	—	2,000,000	2,000,000	2015/12/21
		560 国庫短期証券	—	1,600,000	1,599,999	2015/12/28
		563 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2016/01/18
		566 国庫短期証券	—	1,500,000	1,499,998	2016/02/01
		567 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,997	2016/02/08
		342 2年国債	0. 1000	720,000	720,525	2016/07/15
		100 5年国債	0. 3000	600,000	601,548	2016/09/20
合 計	銘 柄 数	10銘柄				
	金 額			16,920,000	16,922,068	

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第5期（決算日 2014年12月9日）

（計算期間 2013年12月10日～2014年12月9日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第5期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

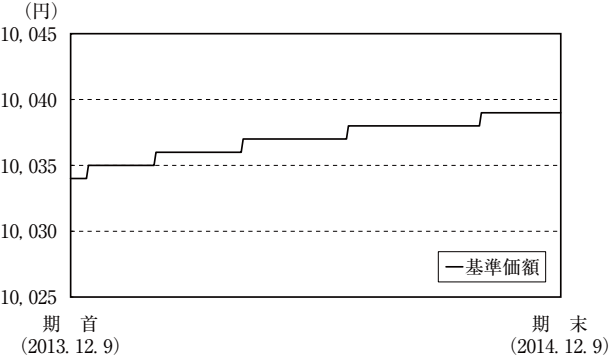
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 率
		騰 落 率	
	円	%	%
(期 首) 2013年12月 9 日	10,034	—	69.6
12月末	10,035	0.0	63.0
2014年 1 月末	10,035	0.0	70.9
2 月末	10,036	0.0	65.8
3 月末	10,036	0.0	67.1
4 月末	10,037	0.0	69.1
5 月末	10,037	0.0	69.1
6 月末	10,037	0.0	67.6
7 月末	10,038	0.0	72.5
8 月末	10,038	0.0	73.1
9 月末	10,038	0.0	68.8
10月末	10,039	0.0	64.6
11月末	10,039	0.0	64.6
(期 末) 2014年12月 9 日	10,039	0.0	58.5

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

- ◆基準価額等の推移について
【基準価額・騰落率】
期首：10,034円 期末：10,039円 騰落率：0.0%
【基準価額の主な変動要因】
利息収入により、基準価額は値上がりしました。
- ◆投資環境について
期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。また、2014年10月末には追加金融緩和を実施し、長期国債を中心とする資産買い入れを一層拡大しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場ではおおむね低位での金利水準が続き、無担保コール翌日物金利は0.06%台を中心に推移しました。国庫短期証券（3カ月物）の利回りは0.06%程度で始まりましたが、日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.01%程度まで低下して期末を迎えました。
- ◆前期における「今後の運用方針」
資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。
- ◆ポートフォリオについて
短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。
- ◆ベンチマークとの差異について
当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引続き、資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料	—円
有 価 証 券 取 引 税	—
そ の 他 費 用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月 9 日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国 債 証 券	千円 2,599,774	千円 —
		(	2,690,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

当 期		期 末	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
464 国庫短期証券 2015/1/14	149,999		
419 国庫短期証券 2014/12/22	99,999		
477 国庫短期証券 2014/12/8	99,996		
475 国庫短期証券 2014/11/25	99,992		
454 国庫短期証券 2014/8/25	99,990		
433 国庫短期証券 2014/5/26	99,988		
493 国庫短期証券 2015/2/23	89,998		
473 国庫短期証券 2014/11/17	79,995		
452 国庫短期証券 2014/8/18	79,991		
431 国庫短期証券 2014/5/19	79,991		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内(邦貨建)公社債(種類別)

作 成 期	当 期		期 末	
区 分	額面金額	評価額	組入 比率	うちBB格 以下組入 比率
	千円	千円	%	%
国 債 証 券	480,000	479,995	58.5	—

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

当		期		末			
区 分		銘	柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券				%	千円	千円	
	479 国庫短期証券	—		70,000	69,999	2014/12/15	
	419 国庫短期証券	—		100,000	99,999	2014/12/22	
	464 国庫短期証券	—		150,000	149,999	2015/01/14	
	490 国庫短期証券	—		70,000	69,997	2015/02/09	
	493 国庫短期証券	—		90,000	89,998	2015/02/23	
合 計	銘柄数	5 銘柄					
	金 額			480,000	479,995		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2014年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	479,995	58.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	340,319	41.5
投 資 信 託 財 産 総 額	820,315	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	820,315,287円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	340,319,449
公 社 債 (評 価 額)	479,995,838
(B)負 債	—
(C)純 資 産 総 額 (A－B)	820,315,287
元 本	817,136,908
次 期 繰 越 損 益 金	3,178,379
(D)受 益 権 総 口 数	817,136,908口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	10,039円

＊期首における元本額は815,881,793円、当期中における追加設定元本額は358,153,378円、同解約元本額は356,898,263円です。
 ＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)998円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジあり)112,594,660円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジなし)73,734,556円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり)2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり)2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり)2014-11 9,962円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型)999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド(毎月決算型)999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型)999円、アジア高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型)999円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Aコース4,988,527円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Bコース2,494,264円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Cコース999,197円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Aコース698,255円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Bコース458,853円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Aコース1,994,416円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Bコース648,186円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Cコース179,498円、世界優先証券ファンド(為替ヘッジあり/限定追加型)998円、U S 短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型)3,988,832円、U S 短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)4,984円、ダイワ/シュローダー・グローバル高利回りC Bファンド(限定追加型)為替ヘッジあり7,009,001円、ダイワ/シュローダー・グローバル高利回りC Bファンド(限定追加型)為替ヘッジなし904,221円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4 カ国不動産関連ファンドー成長の植音(つちおと)ー11,000,000円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ277,939,483円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ155,681,197円、ダイワ米国高利回り不動産証券ファンド19,942,168円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース(毎月分配型)4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ ブラジル・レアル・コース(毎月分配型)12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 通貨セレクト・コース(毎月分配型)4,981,569円、ダイワU S 短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)199,295円、ダイワ先進国リート a 為替ヘッジあり(毎月分配型)399,083円、ダイワ先進国リート a 為替ヘッジなし(毎月分配型)99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リート a 円ヘッジコース(毎月分配型)399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リート a 通貨セレクトコース(毎月分配型)99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり)20,016,725円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし)4,000,959円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド49,850,449円、ダイワ日本株ストラテジー a (通貨選択型)ージャパン・トリプルリターンズー日本円・コース(毎月分配型)398,764円、ダイワ日本株ストラテジー a (通貨選択型)ージャパン・トリプルリターンズー豪ドル・コース(毎月分配型)99,691円、ダイワ日本株ストラテジー a (通貨選択型)ージャパン・トリプルリターンズーブラジル・レアル・コース(毎月分配型)398,764円、ダイワ日本株ストラテジー a (通貨選択型)ージャパン・トリプルリターンズー米ドル・コース(毎月分配型)398,764円、ダイワ日本株ストラテジー a (通貨選択型)ージャパン・トリプルリターンズー通貨セレクト・コース(毎月分配型)1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンドーイーグルアイⅡー予想分配金提示型 日本円・コース3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンドーイーグルアイⅡー予想分配金提示型 豪ドル・コース2,492,026円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンドーイーグルアイⅡー予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンドーイーグルアイⅡー予想分配金提示型 米ドル・コース19,936,205円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンドーイーグルアイⅡー予想分配金提示型 通貨セレクト・コース11,961,723円です。
 ＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,039円です。

■損益の状況

当期 自2013年12月10日 至 2014年12月9日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	423,234円
受 取 利 息	423,234
(B)有価証券売買損益	2,048
売 買 益	2,048
(C)当 期 損 益 金 (A+B)	425,282
(D)前 期 繰 越 損 益 金	2,803,343
(E)解 約 差 損 益 金	△ 1,321,868
(F)追加信託差損益金	1,271,622
(G)合 計 (C+D+E+F)	3,178,379
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	3,178,379

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
 (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。